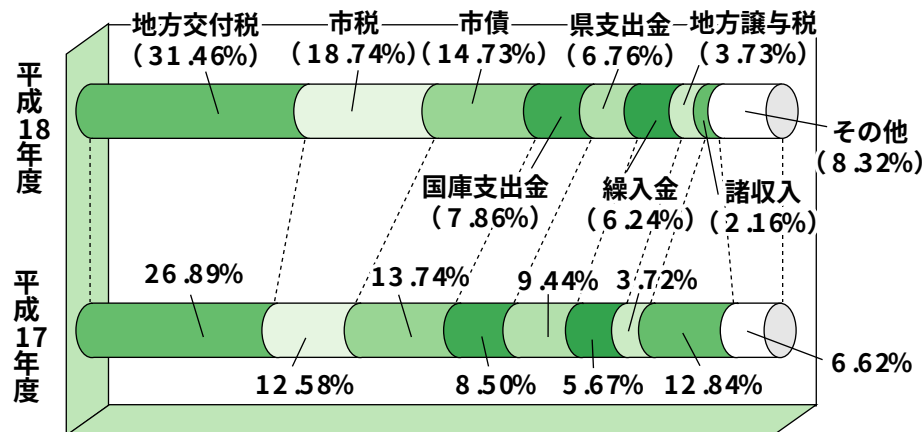


309億911万円

171億6,400万円

歳入



(単位: 千円)

	平成18年度	平成17年度
地方交付税	5,400,000	2,828,508
市税	3,217,140	1,323,143
市債	2,528,200	1,445,530
国庫支出金	1,348,640	894,495
県支出金	1,159,602	992,629
繰入金	1,071,114	595,930
地方譲与税	639,400	391,215
諸収入	371,000	1,350,150
その他	1,428,904	697,200
合計	17,164,000	10,518,800

総務費

問 鹿島鉄道対策協議会の進捗状況は

答 現在存続させるための方法を協議し、乗客数の減少傾向に歯止めがかけられないという事に対して、毎

問 茨城租税債権管理機構への負担金の計算基準と費用対効果、機構の人員的な内訳は

答 機構は、処理困難な市町村の収入未済額の資金繰りを広域的な徴収

年助成をしなければやっていけないという現状である。鹿島鉄道ができないのであれば、バスなどほかの代替も考えなくてはならない。何とか関東鉄道にもう少し頑張るべきだということでは話している状況である。

3月 定例会

8日～20日

平成18年第1回行方市議会定例会は、3月8日から20日までの13日間の会期で開催されました。
今回の定例会では、平成18年度事業執行の指標となる一般会計・特別会計予算を中心に、専決の承認案2件、条例案34件、予算案18件、同意案1件、その他12件の計67議案が提出され、慎重なる審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。
一般質問には、9名が登壇し、市政全般について、市長をはじめ関係部課長の見解、方針を問いました。

特別会計・企業会計

(単位: 千円)

会計別	平成18年度	平成17年度
国民健康保険特別会計	4,595,300	2,933,300
老人保健特別会計	3,760,400	2,238,100
介護保険特別会計	2,388,800	1,317,400
農業集落排水事業特別会計	421,600	210,700
特定環境保全公共下水道事業特別会計	532,700	467,500
流域関連公共下水道事業特別会計	551,500	492,500
水道事業会計	収益的収入	876,200
	収益的支出	562,945
	資本的収入	876,200
	資本的支出	613,493
国民宿舎白帆荘運営事業会計	収益的収入	70,060
	収益的支出	150,437
	資本的収入	388,950
	資本的支出	347,426
国民宿舎白帆荘運営事業会計	収益的収入	229,660
	収益的支出	137,130
	資本的収入	229,660
	資本的支出	137,130
国民宿舎白帆荘運営事業会計	資本的収入	0
	資本的支出	0

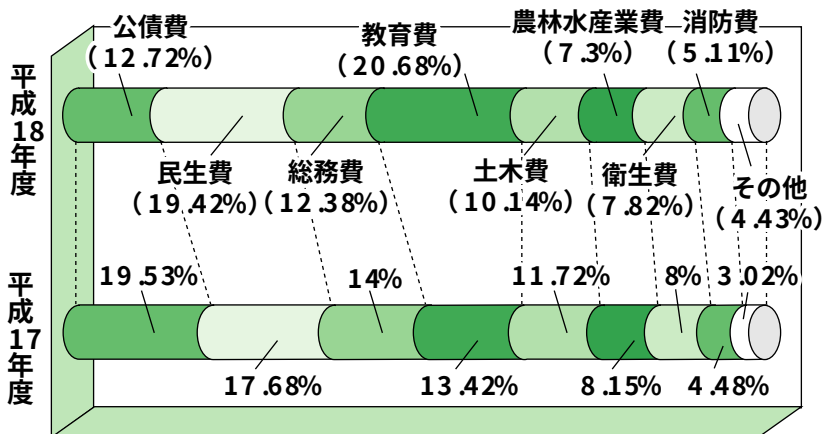
平成18年度 予算成立 総額

一般会計

歳出

こんな質問がありました。
(掲載されているのは質問の
一部を要約したものです)

体制を整備するというところで設立された。県職員、市町村職員、弁護士、警察等のOBで組織されている。現在、行方市から1名の職員が出向している。本年度負担金は、各市町村の均等割が5万円、処理件数割20件、そのほか、前々年度の徴収金額実績分の10%がベースである。対費用効果は、約90%あるのではないかと考える。



(単位: 千円)

	平成18年度	平成17年度
公債費	2,182,839	2,054,587
民生費	3,332,871	1,859,522
総務費	2,124,960	1,472,531
教育費	3,548,944	1,411,137
土木費	1,741,204	1,233,245
農林水産業費	1,252,120	857,089
衛生費	1,343,008	841,201
消防費	877,779	471,192
その他	760,275	318,296
合計	17,164,000	10,518,800

答 公共交通のあり方について

問 玉造から土浦までの路線バスを北浦の方まで延線できないか。

答 アントラライズのインパクトを利用し、行方市の知名度のアップを図る。メリットとして、アントラライズのホームページと行方市のホームページがリンクされる、サポーターに配っている月刊誌にイベント等の情報が掲載される。また、4月から小学生全員に無料招待券を配布する、9月10日を行方の日ということで、一般の方が1000円、65歳以上の方が無料での招待や観光PRなどが行われる。

問 鹿島アントライズFCホームタウン参画出資金の意義とメリットは

答 委員は、花木鳥について見識がある方、市民を代表される方、議員その他、12名を考えている。花木鳥の選定方法については、アンケート調査を実施し、皆さんの意見をもとに選定を進めていきたい。

問 まちづくり推進事業の花木鳥の策定委員とは

答 交付要綱を定め、区で事業を実施していく場合に、その運営に対して交付をしていく。具体的な調整は、地区の要望等も聞きながら、予算の範囲内で交付をしていく。その際に、世帯割あるいは戸数割で基準額を定め、戸数割は80世帯を基準にしたい。

問 区の運営交付金の割り振りは

いろいろ検討していきたい。コミュニティバスと称して、バスの廃線を行政が補うことについてもよく検討をしていきたい。

民生費

問 家庭的保育事業とは

答 在宅の保育士が自宅で子供を保育する事業である。保育士と補助者2名で保育に当たり、3名まで子供を預かる。現在のところ北浦地区1カ所をお願いしている。合併本来の効果を出すためにも、既存の保育所に対応したいと考えている。

問 子育て支援センター専門員、放課後児童クラブの指導員とは

答 子育て支援センター専門員は、子育て支援全体の事業の企画立案等や各種事業に当たっている。社会福祉課内の子育て支援センターに2名を配置している。

放課後児童クラブの指導員は、児童を学校下校時から6時まで預かる。玉造地区6カ所、麻生地区1カ所に対し、それぞれ2名を配置している。

問 障害者支援事業の中で、自立訓練等の支援費の内容は

答 訓練支援費は施設等へ入っている者、居宅生活支援費は、自宅においてヘルパー等によって家事サービスを受ける者、障害者の介護サービスを受ける者等の費用である。

衛生費

問 高度処理型浄化槽の範囲は。下水道事業に該当にならないところには、合併浄化槽を普及させていかなければならないのでは

答 平成18年度は高度処理型浄化槽、5人槽が10基、7人槽10基、10人槽1基を予定している。浄化槽のエリアについては、現在計画されている下水道エリア以外の部分である。

問 なめがた地域総合病院は、現在産科が休止になっているが、病院に対して産科の再開の働きかけをお願いする。

答 医師の確保が難しいが、早急に見つけて対処したいという。今後さらに病院の方へ強く訴えて要請していく。



なめがた地域総合病院

問 出産報償費は何件分を予算化したのか。思い切った施策をお願いする。

答 出産報償費は960万円ほど計上している。これは、出産した場合は1人3万円ということ、320人を計上している。民間でも1000万以上出している企業ができたので、行政でもできるものであれば今後考えてやっていきたい。

農林水産業費

問 造林促進事業とは

答 植林事業ということで、基準は5アールに75本の苗木を植えた方に、県を通じて助成があり、農林水産課で受け付けている補助である。

問 無人ヘリに関して説明いただきたい。

答 市では、旧町から4機を引き継ぎ保有している。全市を対象に無人ヘリで防除を行う方向で、今ある4機のほか不足分は委託をして、機数を増やし、1週間程度で実施する。

問 ポジティブリスト制の中、無人ヘリの散布実施に当たり、水稻の近くの畑などではどのような配慮をするか。

答 5月29日からポジティブリスト制が予定されている。飛散の関係については、十分配慮をして実施をしたい。

ポジティブリスト制とは？

残留基準の設定されていない農薬が残留する食品の流通を禁止することをいいます。

問 高生産性農業集積促進事業費5000万円はどういう交付金か。

答 土地の集積と土地の利用率をクリアした土地改良事業を実施終了したところへ交付する。平成18年度は、税源移譲関係で75%を県が、25%を市が負担の予定で、強い農業づくり交付金という形の中で変更されている。北浦地区の要土地改良区が17年・18年・19年度の3カ年で予定されている。

商工費

問 帆引き船は、市として何艘維持するのか。

答 市では、麻生地区3艘、玉造地区2艘で5艘の帆引き船がある。財政的なこと、操業する者の育成等もあるので、今のところは5艘ぐらいが適正だと思う。厳しい財政の中でも、帆引き船を継続して、霞ヶ浦の観光としてアピールしていく。



帆引き船

問 霞ヶ浦ふれあいランド管理事業とは

答 行方市開発公社に管理運営を委託している事業である。水資源機構

の水の科学館、その中には県で展示物を展示している施設もあり、そのほか虹の塔、親水公園の3つの管理をお願いしている。

土木費

問 行方市企業誘致促進協議会（仮称）とは

答 北浦複合団地の企業誘致活動及び、円滑な立地促進ということとで設立をしたい。市長を会長に、市会議員、その他工業関係の方で組織をしたい。

問 県単急傾斜地崩壊対策事業とは。全国的に大震災等が発生している中、生命、財産を守るという観点から、市でも極力働きかけていただきたい。

答 今年度は、行方市小牧、浜、井上、富田、繁昌の5カ所を整備する計画ということで県から通知がきている。事業費6500万円に對する10分の1の650万円を市の負担とし、計上した。

問 住宅管理戸数とその状況、入居者希望の状況は

答 市営住宅の戸数は、現在158戸である。大宮住宅、新原西住宅については、現在入居している方が退去をした場合には取り壊しの方向で、新たに入居の受け付けはしない。入所希望はあるが、実際に空きがない。入居は選考委員会を開いて行っている。

教育費

問 スクールカウンセラーと心の教室相談員の違いは

答 スクールカウンセラーは、児童・生徒の問題行動の未然防止、早期発見等を図るために、県において、小・中学校に配置する事業である。専門的立場から悩みに答えたり、先生の悩みに答えたりしている。心の教室相談員は、生徒たちの悩みやストレス等を未然に防ぐということで、各中学校に配置する事業である。

問 運動会等1000万円の割り振りは

答 運動会は、地域全体の親睦と融和ということで、今後も開催する。平成17年度の実績、北浦地区は、平成16年度の実績を踏まえ計上した。



麻生地区体育祭

各地区への予算の割り振りは、区長及び地域の体育関係者と打ち合わせる中で決めていきたい。

問 体育指導員の市体育協会やスポーツ少年団との関係は

答 体育指導員は、地域のスポーツに対し、指導助言をしている。平成18年度は、30名以内で地域の社会体育関係にご尽力いただく。スポーツ少年団、体育協会との関連は、体育指導員は教育委員会の非常勤職員である。現時点では各種大会等の協力と、今後は地域における体育関係の指導をお願いする。

問 中学校海外派遣研修事業の対象人員と、何人くらい派遣する予定か。

答 対象は中学2年生で350人前後、派遣は10日間で36人程度を考えている。



さんまいづか
三味塚古墳（行方市沖洲）

行った方の発表会など、行けない方にも内容を還元できるような場を設けたい。

問 校舎活用基本計画アドバイザーとは

答 新しくできた中学校の校舎をより有効に活用するアドバイスをし、そのためのマニュアルを作成をするものである。異動により新しく入ってきた先生もそれを見て活用できるようにする。

問 三味塚古墳の進捗状況は

答 三味塚農村公園整備は、平成18年3月では完了している。

問 子供たちの登下校中の防犯対策は、どういうところに力を入れているのか。

答 門扉等の設置をしていない学校等については、平成18年度の予算の中でお願いした。防犯活動は、さらに充実しなければならぬ状況下であり、防犯パトロールの組織化を早期に立ち上げていく方向で、今調整をしている。地域の中でボランティア等を募り、組織と学校が一体となつて、地域全体で子供たちを守つていこうと考えている。

問 青少年の育成に努める具体的な構想は

答 青少年の健全育成のためには市民会議が必要だということで、学校と地域と家庭が一体になった形で進めていきたい。